



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月5日

上場会社名 カネソウ株式会社

上場取引所 名

コード番号 5979 URL <http://www.kaneso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 健治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 南川 智之

TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,493	7.6	23		15		7	
2020年3月期第1四半期	1,616	5.3	20		29		21	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.30	
2020年3月期第1四半期	15.28	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,661		13,684			87.4
2020年3月期	15,919		13,782			86.6

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 13,684百万円 2020年3月期 13,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		75.00		75.00	150.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,560	3.2	100	22.3	80	28.0	45	24.1	31.60
通期	7,600	0.2	440	22.8	400	24.0	265	25.1	186.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,440,000 株	2020年3月期	1,440,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	16,290 株	2020年3月期	16,290 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,423,710 株	2020年3月期1Q	1,423,710 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている中で、拡大防止に向けた取り組みにより、経済活動や社会活動の制限が続いてきたことから、需要が大きく減少することとなり、その影響から景気が急速に悪化してまいりました。当社の主要な市場であります建設関連業界におきましては、需要の低い時期にあつて、建設工事の一部停止や設備投資などが慎重なものとなり、都市部を中心とした工事需要の停滞もあり、受注環境が低下しました。また、材料価格をはじめとするコスト環境は、なお高位な状況にあり、労働環境にも影響し、取り巻く事業環境は厳しい状況にあります。その結果、市場における需要減少もあり、売上高は、14億93百万円(前年同四半期比7.6%減)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、外構、街路関連工事など、期初の工事が進まないこともあり、外構・街路関連製品が減少したことと、建築工事関連が低調な状況から、雨水排水・防水関連製品が前期並みとなり、4億17百万円(同4.9%減)となりました。

スチール機材は、設備、土木関連工事が進まない状況が続いていることから、外構・街路関連製品など全般に低位なものとなり、2億80百万円(同1.4%減)となりました。

製作金物は、工事の進捗により防災関連製品の納入が続いたものの、建築工事は低調な状況が続き、建築金物が減少し、外構、街路等景観整備工事も減少したことから、外構・街路関連製品が減少したことが影響し、7億22百万円(同8.0%減)となりました。

その他は、公共投資が低調な状況が続き、土木需要が低下したことと、建機、機械向け製品の需要回復がなく、減少傾向が続いていることが影響し、74百万円(同31.7%減)となりました。

利益につきましては、材料価格に調整感はあるものの高値状態が続き、コスト環境は引き続き厳しい状況にあります。また、需要の低い時期にあり、経済活動が徐々に再開される中であつて、動きは弱く、販売環境や生産も低位なものとなりました。その結果、売上総利益は、5億34百万円(同1.2%減)となりました。販売費及び一般管理費につきましては、期初における費用負担もありますが、一般的に支出が低下したことから、営業利益は23百万円(前年同四半期は20百万円の営業損失)となりました。営業外損益につきましては、更に低金利の環境が進むこととなり、収益の低い状況が続きました。その結果、経常利益は15百万円(前年同四半期は29百万円の経常損失)となり、四半期純利益は7百万円(前年同四半期は21百万円の四半期純損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億58百万円減少し156億61百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2億6百万円減少し119億85百万円となりました。その主な要因は、製品が69百万円、仕掛品が39百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億34百万円、現金及び預金が90百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ52百万円減少し36億75百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の機械及び装置が40百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億61百万円減少し19億76百万円となりました。その主な要因は、流動負債が1億68百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ97百万円減少し136億84百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当が1億6百万円あったこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済活動が徐々に再開されているものの、一定の感染防止策が引き続き実施されている中で、新型コロナウイルス感染症の新規感染が再び広がる状況下であり、当面の経済活動は予断を許さない状況が続くものと見込まれます。こうしたことから、従前の状況に戻るには、なお時間を要するものと思われ、長期化することも予想されます。建設関連業界においては、インフラ整備を中心とした公共事業投資や再開事業の回復が期待されますが、世界的に不安定な状況下にあつて、国内経済や金融資本市場の変動など影響は大きなものとなり、需要回復の時期など予測が困難な状況にあります。引き続き、経済活動への影響を注視し、経営環境の変化に対応できるよう努めてまいります。また、防疫対策を整え、受注機会を捉え、生産活動の改善と生産性の向上を図り、収益の確保、改善ができるよう取り組んでまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,289,824	8,198,958
受取手形及び売掛金	1,305,377	1,070,701
電子記録債権	208,630	185,169
有価証券	1,300,000	1,300,000
製品	531,375	600,539
仕掛品	118,043	157,471
原材料及び貯蔵品	433,962	460,460
その他	17,240	22,659
貸倒引当金	△12,451	△10,314
流動資産合計	12,192,004	11,985,645
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,732,878	1,732,878
その他(純額)	1,573,059	1,528,546
有形固定資産合計	3,305,938	3,261,424
無形固定資産		
	40,629	39,107
投資その他の資産		
投資有価証券	61,060	62,967
その他	332,306	323,959
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	381,367	374,926
固定資産合計	3,727,934	3,675,458
資産合計	15,919,938	15,661,104
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	310,107	294,244
未払法人税等	169,396	8,065
賞与引当金	58,308	21,582
その他	246,753	291,839
流動負債合計	784,566	615,732
固定負債		
退職給付引当金	296,945	298,194
役員退職慰労引当金	479,223	484,463
その他	576,735	577,934
固定負債合計	1,352,905	1,360,593
負債合計	2,137,471	1,976,325

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,702,778	10,603,540
自己株式	△69,828	△69,828
株主資本合計	13,772,950	13,673,711
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,516	11,067
評価・換算差額等合計	9,516	11,067
純資産合計	13,782,467	13,684,779
負債純資産合計	15,919,938	15,661,104

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,616,550	1,493,693
売上原価	1,076,041	959,499
売上総利益	540,509	534,193
販売費及び一般管理費	561,415	510,418
営業利益又は営業損失(△)	△20,905	23,775
営業外収益		
受取利息	431	379
受取配当金	1,255	1,272
不動産賃貸料	4,667	4,699
その他	856	479
営業外収益合計	7,210	6,831
営業外費用		
支払利息	2,791	2,828
売上割引	12,114	11,392
その他	1,025	958
営業外費用合計	15,931	15,179
経常利益又は経常損失(△)	△29,626	15,426
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△29,626	15,426
法人税、住民税及び事業税	3,839	1,711
法人税等調整額	△11,709	6,175
法人税等合計	△7,870	7,887
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,756	7,539

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。